



長野縣下伊那郡竜丘村大字 桐林六三 編輯兼發行所 原行雄 印刷所 信濃産業新報社 代表者 熊谷和志雄

十月一日 全國一齊

昭和十五年 國勢調査施行さる

御國の爲めに正しい申告

今秋十月一日午前零時を期して國勢調査が行はれる、今回の國勢調査は大正九年、大正十四年、昭和五年及昭和十年に續く第五回の定期的調査である。恰も紀元二千六百年に於て本年の調査が行はれる事は其の意義に深きものであるを感ぜしめられるのであるが同時に戦時下の國勢調査たる点に於て、餘りに類例のないものであり、それだけに特別の意義と特色をもつものと謂ふ事が出来る。

云ふ迄もなく國勢調査は國勢の基本たるべき事項について一齊調査を行ひ、國家の政治、經濟、産業等の諸施設諸政策の基礎を得ることを目的とするのであるが、今回の國勢調査は前述の通り事變下、戦時下の調査であるから、現下我國内外の情勢に鑑み國家總力戦体制を強化整備するための基本資料を整へるといふ事に主眼點を置き、従つて調査の範圍方法を於ても從來とは相當異つた仕組みとなつてゐるのである。

Table with columns for '三、男女の別', '四、出生の年月日', '五、配偶の關係', '六、現職', '七、定職', '八、兵役の關係', '九、出生地'. Includes a section for '職業及産業の場所' with a list of professions.

- List of names and addresses for the survey: 一、本籍地 折金 米男 大平 壽郎 伊藤 一桂 中平 良生 木下 秀雄 齊藤 正 下平 貢 伊原 悦男 久保田 經男 伊藤 龜雄 下平 美喜 中島 久雄 原 俊治 原 光人 中田 美穂 中島 一男 原 定治 森 雅夫 木下 幸男 北澤 亮 岡村 誠一 伊原 春雄 今村 玄吾

御挨拶

竜丘軍友會 前島 賴輔

本會創立以來絶大の熱誠を以て事變下軍友會代表として盡瘁せられたる前澤玉吉氏の勇退により計らずも、後任者としての御推薦を蒙りましたが何分不肖にて其器に非ざるを深く耻づるものであります。何卒各位の御指導御鞭撻を御願ひする次第であります。僭越ではあります時局に對する所信の一端を述べて御挨拶に代へ度いと存じます。我軍友會員は總て兵役關係者の後身であるため、國防軍事に關しては相當の知識と、經驗を有するものであります。従て有事の際第一線と統後との聯絡には率先して其運動に參加力行すべきは當然の義務でありまして、本會としてしるべき極力活動を致して居る次第であります。

美はし……統後赤誠 寄附者芳名

- 村統後奉公會へ 一、金參拾圓也 杉本 馨殿 一、金拾圓也 木下 多造殿 一、金拾圓也 下平芳太郎殿 一、金參圓也 竜丘女子青年會 代表者 今村美那樣

醒を要する時期であります。今や八紘一宇の大理想に基き大東亞建設の大業達成には只一萬民一致の体制により高度國防の完成のみ他に何物もなきを堅く信ずるものであります。近況によれば政府は大に茲に留意し益々一力民一体滅私奉公の實を擧げしむべく、近く舊來の組織を改め、上意下達下意上達のため新体制の組織に邁進せられつゝあると云ふ誠に有難き極みであります。實に征野に活躍する帝國軍人が直に

の方向に一大轉換しつて國策遂行に幾分なりと寄與せぬはならない。此の時私は青年團組織の變更を叫ぶもので云ふまでもなく委員制の改革である、過去を省り見るでなく今此の現實の世に對抗しなればならない。古人の云ふが如く時代の流れに添つて行けと正しく、今此の時代に到達したと思ひます。委員制とは彼の共産ロシアの直輸入とか確に過去の時代に於てはふさはしき制度であつた事である。かゝる制度を速に廢して團制に第一歩を進めたなら如何で

謹告!!

支那事變も愈々長期に亘る時吾竜丘時報も先輩編輯子の努力により遂次に發展し今年に到りしが、事變の爲印刷費騰貴に依る豫算の關係並に物資統制に依る新聞用紙の節約に依り遂に減頁の止む無きに至りました。尙九月號は秋蠶多忙の爲休刊致し十月號より四頁發行します故悪しからず。各位の御期待に反し何とも申譯之無き次第です。今後の奮勵を約し御寛恕お願ひします。 竜丘時報編輯部

燕菜の移植 栽培に付いて

S H 生

現今蔬菜栽培の進歩に伴ひ 馬鈴薯の催芽植付、結球白菜 移植栽培、其他茄子の摘芯抑 制栽培等は各種特殊の人工 を加へ栽培上に研究を進め られつゝあり。其の一つとし て當地方として重要蔬菜の一 として栽培されて居る蔬菜の 移植栽培に付き数年實驗せし 處、好結果を認めし故に一 体験談として發表し、いさゝ かなりとも皆さんの御参考に ならば幸ひと存じます。

三、植付

九月下旬一十月月上旬苗 の本葉四一五枚を生ずる 時鉢にて丁寧に掘取り、本畑へ作畦一本宛各二一三寸へだてゝ植 付ける。

四、植付後の管理

植付後は四一五日位に して植付當時の莖葉は 黄變し、遂に枯死し全 く無収穫の状態となる も後約一週間に於て基 部より新葉を生じ、活 着すれば次第に發育し て来る。

活着後は二一三回追肥 として人糞尿を施す管 理上注意すべき点は株 の部へ土砂の入れない 様注意する事。 其他の管理としては直 播の場合と同様。

一、播種

普通燕菜の播種期より 約一週間前に葱苗を仕 立てると同様苗床を作 りこれに人糞尿を施し 四一五寸の條播とする 發芽後は適宜間引を行 ひ強健ならしめる。

二、本畑

九月下旬となれば如何 に如何に遅く迄収穫す る茄子、蕃茄とも大 体其の量少く後作の必 要を生じ、此頃苗床の 苗の(便宜上これを苗

スーユニがらお

國民學校講習會 竜丘小學校長木下先生 は七月十五日より八月 三日迄松本に開催さる 國民學校講習會に出席 する。 吾村出身東部五〇部隊 將兵に御慰問して飯校 務。 統後奉公會旗作製 竜丘村統後奉公會では 東京高島屋より統後奉 公會旗を作製し八月十 五日出来上り役場に來 る。

夏山は招く

桐林青年會山岳部A組十二名 西駒ヶ嶽に登山、B組四名は 御嶽に登山す。

寫真面會

統後奉公會では村出身の出征 軍人、現役軍人の家族の寫真 を撮り戦野に奮闘して居る兵 隊さんの下へ發送、兵隊も家 族に久しぶりの面會出来さぞ 嬉しかつた事でしょう。

小學校使丁就任

長らく小學校の使丁して居た 時又の、下平廣一氏今同名古 屋方面工場に行きし爲、後へ 飯田より安藤氏來る。今後宜 敷く御願ひ致します。

北海道馬買ひ

農會の佐藤さん、産馬組合長 下平廣一氏等は種牝馬購入の 爲北海道へ出張、那畜産の片 桐枝手も、北見國訓子府市場 で始めて買ひつけにかゝつた が豫定より高値で手が出な いので外の市場に行き辛らう じで五頭を購入したが仲々苦 心であつた。一頭七百圓前後 最高二千八百圓と云ふ高値も あつた。

節米標語募集

時局に鑑み役場では節米標語 募集した仲々良いのが出た近

日發表す。 非常召集 竜丘警防團第二分團では八月 十六日午後五時突然打鐘し天 龍社時又工場附近にて放水演 習する。

組合便り

組合事務所では林書記天龍社 本社工場榮轉の後を享けて、 下平安雄(供納精算係)折金 米男(農産物販賣係)兩氏の 入所を見た。

七月十四日第二十一回通常總 會開催、出席組合長三百九十 一名内委任状七十八名、 代田組合長開會を宣し第一號 議案より第六號議案に至る問 題を可決した。

組合事業上の附帯決議として 一、肥料配給に關する件 二、蛹の還元に關する要望の 件 二問題の動議提出あり、満場 一致可決決定した。

役員中理事一名、監事一名欠 員に依る補欠選挙に就いて左 記二名當選した。 桐村 原 喜市 (監事) 長野原 齊藤喜八 (理事)

本年度春蠶は霜害に依り例年 になく、供納遅れて受入開始 六月十五日、最終、七月十日最 盛、七月一日であつて、受入 總計二万三千九百九十七メ、 前年春蠶二万九千三百三十三メ に比し、五千三百三十三メ減 掃立互數三三、三六五互霜害

を克服して學村、好成绩を舉 げた。 春蠶品種別受入量 品 種 名 供 納 量 分離白×新月 一三、〇二メ〇〇 歐六×支〇六 九、〇二メ〇〇 鐘白×新白 一、二五メ〇〇 日九×支〇六 〇、八六メ〇〇 計 三三、九七實二〇

玉 蘭 七百五十一メ五百 中 蘭 六十九メ三百 毛羽(平) 二百二十二メ〇〇 (棒) 三十四メ 右は春蠶副産物販賣受入高で ある。 時價販賣より相當高値を以つ て本月末或は八月初旬決算の 見込。

夏季鍛練の目的を以つて上 伊那郡七久保村千人塚に行軍 す。一行男女合せて七十二名 八月十六日午前六時廿九分 又驛發、大島驛着下車、それ より大島上片桐七久保と約十 杆行軍目的地千人塚に達す時 に午前十一時。

竜丘青年 學校便り

夏季鍛練の目的を以つて上 伊那郡七久保村千人塚に行軍 す。一行男女合せて七十二名 八月十六日午前六時廿九分 又驛發、大島驛着下車、それ より大島上片桐七久保と約十 杆行軍目的地千人塚に達す時 に午前十一時。

途上片桐清泰寺に滿洲事變 の驍將大澤中佐の墓参をなし 七久保小學校にて少憩す。 傳説の千人塚は北村城址の 西水一萬坪の貯水池の中央 に突出せる半島上あり。附 近は七久保村共有山にして土 地高爽、背後に南駒ヶ岳の峻 峰を一望にをさむ。貯水池の 水は七久保高原の水田に灌漑 し本年の如き早期早魃にも被 害なく、水稻の發育極めて良 好に見受けられたり。冬期は スケート場として近年名あり 池畔の山野に同村青年が二六 〇〇年を記念する櫻も植樹を 多く見受けたり。當日は恰も 盆の十六日なれば近郊近在よ りの遠足者にて賑はへり。一 行夕景まで池畔山野を逍遙跋

時報も茲に十五年度第七號 發行する事に成りました。 先輩各位の御努力と村民各位 の御理解と御後援に依つて村 内唯一の村報導報としての役 割を果しつゝあります。然 しまだ、完璧と云ふ迄には 相當の道程があります。眞に 「竜丘村の機關紙」として村 當局を初め各官署各種團體か ら村内一般にもつゝ時報 を御利用下さい。皆様の御利 用に依つてこそ時報はより價 値づけられ發展の道が拓ける のであります。

殊に出征兵、現役兵への發送 に依つて、戦線と銃後をつな ぐ連繫機關の一端をも果し、 第一線では「懐しき郷土の便 り」とし非常な喜び居るま す。皇軍慰問激勵にも是非時 報を役立たせて下さい。 尙左記の如き規定によつてど んどんと編輯室へ原稿を山積 下さる様御願ひいたします。 編輯子一同も益々賑切つて奮 闘致します。

一、村、諸報導記事(役場よ

一、各種論説、村政に對する 評論 一、産業欄：農事、蠶業、畜 産、副業、研究發表並に 指導記事 一、各種團體の諸記事 一、皇軍慰問文、開拓士義勇 軍激勵文 一、戰場便り、滿洲便り、(掲載差支へなきもの) 一、各区内諸ニュース 一、文藝：和歌、短歌、俳句 詩、隨筆 一、其他あらゆる方面のも の

時又驛 十五年度乗降表 乘 降 計 一月 二、三三三、二、〇八三、〇二 二月 七、九五四、七、六一五、三三 三月 二、〇二二、二、〇二二、七五 四月 三、三三三、三、三三三、三三 五月 二、〇二二、二、〇二二、三三 六月 七、九五四、七、六一五、三三 計 二、〇二二、二、〇二二、三三

スタレのしまひ方

□爽やかな初秋の風と共に 夏中大いに役立つスタレも 御用済みとなつて片付けぬば なりませんが、竹のスタレは 蟲がつきやすいので、よほど 氣をつけたいと來年はもう役 に立たなくなつてしまひます □先づ風通しのよい處で充 分に蒸干にして乾燥させ、堅 目のブラシで目の通りに塵を 拂ひます。また蟲が卵など生 みつけた汚れはナイフの先で こすつて落します。

布地いたためぬ ノリづけ □浴衣、ワイシャツなどに ける糊は、コンスターチなら 理想的ですが、ご飯糊か、う どん粉糊が多く使はれます。 うどん粉糊は鍋で煮立す、水 で溶いて置き、箸でかき廻し 乍ら熱湯をそそぎ、半煮え程 度の糊にして、布地につけて 半乾きの時アイロンを熱めに 焼いてのばした方が仕上げも 楽に出来布地もいためません □スフ製品の時は特にこの 方法が布地のアイロン切れを 防ぐためにも良いものです。

時報も茲に十五年度第七號 發行する事に成りました。 先輩各位の御努力と村民各位 の御理解と御後援に依つて村 内唯一の村報導報としての役 割を果しつゝあります。然 しまだ、完璧と云ふ迄には 相當の道程があります。眞に 「竜丘村の機關紙」として村 當局を初め各官署各種團體か ら村内一般にもつゝ時報 を御利用下さい。皆様の御利 用に依つてこそ時報はより價 値づけられ發展の道が拓ける のであります。

殊に出征兵、現役兵への發送 に依つて、戦線と銃後をつな ぐ連繫機關の一端をも果し、 第一線では「懐しき郷土の便 り」とし非常な喜び居るま す。皇軍慰問激勵にも是非時 報を役立たせて下さい。 尙左記の如き規定によつてど んどんと編輯室へ原稿を山積 下さる様御願ひいたします。 編輯子一同も益々賑切つて奮 闘致します。

一、村、諸報導記事(役場よ

一、各種論説、村政に對する 評論 一、産業欄：農事、蠶業、畜 産、副業、研究發表並に 指導記事 一、各種團體の諸記事 一、皇軍慰問文、開拓士義勇 軍激勵文 一、戰場便り、滿洲便り、(掲載差支へなきもの) 一、各区内諸ニュース 一、文藝：和歌、短歌、俳句 詩、隨筆 一、其他あらゆる方面のも の